

緑化だより

No.88 平成 25 年 10 月号



イタチタケ

10,11 月は休園日なしです。

- きのこの香り (7)
- 野鳥の世界 (アオバト)
- イベントの秋
- 研修会のご案内
- お知らせ・ご案内



生き物いっぱい 自然いっぱい

広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園

〒732-0036 広島市東区福田町 166-2

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <http://ryokka-c.jp> E-mail hiroshima@ryokka-c.jp

きのこの香り

No. 7 コウタケ(皮 茸)

4月から、特徴のある香りを持ったきのこをとりあげています。

7回目はコウタケです。

特有の佳香があるとか、しょうゆの香りとか表現されています。乾燥すると香りはますます強くなりますが、この香りを嫌う人はほとんどいないきわめて優れた食菌の一つです。

美味しい食べ方は、塩漬けした後少し塩抜きして細かく切り、暖かいごはん混ぜると香りもでて美味です。

秋、マツが混じったコナラ林に列を作って群生します。

宮城県の言い伝えでは、干したコウタケの煎じ汁は妊婦の産後の血を落ちつかせ、肥立ちをよくする効果があるとかで、そのためにコウタケを用意するのが若い夫婦を持つ家の年寄りの役目だった時代があったということです。

このコウタケ、あくが非常に強く「背負い籠いっぱいコウタケを採った後、雨に降られ、帰宅したときには、きのこのあくで背中が赤くかぶれたことがあった」と話す人もいます。 (川上)



コウタケ

野鳥の世界

アオバト

ハトは平和を象徴する鳥として親しまれています。中でも、神社仏閣などで見られるドバトは、群れて人から給餌を受け、近くまでくるほど慣れてしています。

アオバトは姿や大きさはドバトと同じくらいですが、生態はずいぶん違い、平素は山間部の落葉広葉樹の森林地帯を好み、小さな単位で活動しています。

アオバトの名前の由来は、体の色が緑色をしているからです。

昆虫など動物食もしますが、主食は植物食です。

森林に棲み、緑色をしているため、山中で見かけることはほとんどありません。それでも初夏から秋にかけて独特の鳴き声を聞くことがあります。

「アーオー・オーアオー・アオー」などと聞こえて、深い森林の中で聞くと赤子の泣き声のように聞こえて驚く事があります。

緑化センターの中でも見られるときがあります。

冬期にコナラ、アラカシのドングリを食べに来るのです。多くのカシ類は実をつ



アオバト

けたまま冬を越しているのに、海に水を飲みに行く途中の、餌にしているのではないかと考えられます。又、常緑のカシは冬期も葉を茂らせているため、緑色の体を目立たなくするのに有効です。

いつも見られるアオバトが同じ個体かどうかは確認できていないのですが、場所や、時間帯が似ているので、同じ群れ同じ個体のようにも思われます。

時として枯木の枝にとまることがあるのですが、このときがシャッターチャンスです。(吉見)

イベントの秋

高温、旱天、豪雨と記録づくめの昨今でしたが、吹く風にようやく秋らしさを感じられるようになりました。

秋はイベントのシーズン。

県緑化センターでは、10月5日(土)～14日(月)を**きのこ祭り期間**とし、きのこクイズラリーを行い、レストハウスではきのこご飯や吸い物を用意しています。

又、今年は広島県、広島市が連携した**「秋のおでかけキャンペーン」**を行い、隣接する広島市森林公園や昆虫館との間で、両園のスタンプを押した方に景品をプレゼントします。

期間は10月12日(土)～11月17日(日)で、紅葉の時期に併せています。

自然観察志向の方に喜ばれている県緑化センター、遊具やバーベキュー広場等楽しみの多い広島市森林公園、国内でも珍しい、蝶が年中観察できる広島市昆虫館、それぞれの特徴ある三園が連携した取り組みです。

両園は、提携した行事を平成19年より行っており、11月9日(土)には**「藤が丸紅葉狩りハイキング」**を2班に分けて行います。1班は植物の説明を聞きながら、ウリハダカエデやドウダンツツジの紅葉を楽しみながら歩くコース、2班は健脚向きに、藤が丸、立石山を経由するコースです。

11月3日は、広島市森林公園開園記念協賛行事のスタンプラリーも実施します。

11月2日(日)～24日(日)は**もみじ祭り**としており、11月10日には**「もみじ祭りイベント」**を行います。紅葉と一緒に楽しみ下さい。

緑化センターを初めて利用された方から、これだけ自然豊かな良い施設があるのに、なぜPRに努めないのですかと言われる。限られた中ではありますが、ホームページや各種チラシ等でPRに務めています。又マスコミ、ミニコミ紙の広報機関のご協力も大きな力を頂いています。

くちコミによるPRも効果が高いことから、緑化センターサポータークラブ制度を続けており、広島県緑化センター ○○○○ の名刺を、クラブ員の知人に配布していただいて、地道なPRをお願いしているところです。

緑に触れ、緑に学び、緑と遊ぶ緑化センターに足を運んでいただくことを願っています(正本)

研修会のご案内

- 10月 2日(水)『10月の自然探勝』 10:00~12:00 管理事務所前 集合
秋の樹木や花を観察しよう 講師: 広島大学名誉教授 関 太郎
- 10月 6日(日)『野生きのこウォッチング』 10:00~12:00 管理事務所前 集合
講師と歩きながら観察しよう 講師: きのこアドバイザー 川上 嘉章
※要予約
- 10月 10日(木)『野生きのこ料理教室』 10:00~12:00 学習室 集合
店では買えない野生きのこを試食しましょう 講師: 料理研究家 金本 久子
※要予約(先着25名) 材料費300円
- 10月 14日(月)『秋のきのこ教室』 10:00~14:00 第3駐車場 集合
園内で採集したきのこの
名前や食毒を知ろう 講師: きのこアドバイザー 川上 嘉章
- 10月 20日(日)『庭木の手入れ』 10:00~12:00 学習室 集合
マツのもみあげの講義と実習 講師: NPO法人樹木医ひろしま 工藤 徹
※ 剪定バサミ、木バサミなど持参

♪☆お知らせ・ご案内☆♪

◎ 展示会のお知らせ

展示場所: レストハウス
(ガラスケース)

手描き友禅の会作品展

～ 10月14日(月)

モーモーアート手作り作品展

10月17日(木)～ 11月17日(日)

(ボード展示)

香りのあるキノコ写真展

10月3日(木)～ 10月30日(水)

きのこの展示 (常設)



手描き友禅の会作品展

◎ きのこ祭り

10月5日(土)～14(月)

きのこに関する研修会、実物展示、
クイズラリーなど

◎ もみじ祭り

11月2日(土)～24(日)

◎ もみじ祭りイベント レストハウス前

11月10日(日) 10:00～15:00

クイズラリー、ネイチャーゲーム、
フリーマーケット、草花販売など

表紙: イタチタケ ヒヨタケ科

広葉樹の朽木に発生。

きのこの傘の色がイタチの毛皮の色に
似ていることからつけられた。毒